

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(省令で定める基準単位数を満たす単位分科目のみ抜粋)

学校名：学校法人三幸学園 札幌医療秘書福祉＆ＩＴ専門学校

学科名：国際ビジネス科

授業科目名	単位数
ホスピタリティ論Ⅰ	1
ビジネスマナーⅠ	1
マーケティングコミュニケーションⅠ	2
サービスマネジメントⅠ	2
ビジネスプレゼンテーションⅠ	1
合計	7

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ホスピタリティ論Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	ホスピタリティ論Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	国際ビジネス科	1	15
使用教材	おもてなしの日本語 心で伝える接客コミュニケーション 基本編		出版社	アスク出版	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	日本におけるホスピタリティ精神の基礎知識を身に着ける。				
到達目標	おもてなしの日本語を覚え活用することができる。 顧客とのコミュニケーションをイメージすることができる。				
評価基準	テスト：40％ 小テスト：30％ 提出物：30％				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	ホスピタリティ論Ⅱ、ホスピタリティサービスⅠ、ホスピタリティサービスⅡ、ホスピタリティサービスⅢ、ホスピタリティサービスⅣ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	松田 朋子		実務経験	○	
実務内容	ANA 旅行業にて接客業務兼、OJT 研修・インターンシップ研修業務を経て、研修講師として教育機関へ登壇				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	おもてなしの心①	おもてなしの心とは、おもてなしの言葉について
3	同上	同上
4	おもてなしの心②	おじぎ・名刺交換の方法について
5	同上	同上
6	人間関係構築①	第一印象の構成について

7	同上	同上
8	人間関係構築②	挨拶について
9	同上	同上
10	人間関係構築③	表情について
11	同上	同上
12	相手を思う心	確認の重要性、察しの文化について
13	同上	同上
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ビジネスマナーⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネスマナーⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	国際ビジネス科	1	30
使用教材	留学生のためのビジネスマナードリルブック ビジネスマナー基礎実習 新版		出版社	カットシステム 早稲田教育出版	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	日本におけるビジネスマナー知識を身に着ける				
到達目標	ビジネスとコミュニケーションの基本ポイントを述べることができる				
評価基準	テスト：40％ 小テスト：30％ 提出物：30％				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	ビジネスマナーⅡ、ビジネスマナーⅢ、ビジネスマナーⅣ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	鐘築 千草		実務経験	○	
実務内容	アナウンサーとして公共放送、民間放送で 10 年経験。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 声出し	授業の流れ、到達目標について 五十音の発声練習
2	指示の受け方・報告のしかた	基礎問題
3	同上	応用問題
4	同上	実践問題
5	言葉遣い	基礎問題
6	同上	応用問題

7	同上	実践問題
8	復習	これまでの復習、テスト
9	電話応対	基礎問題
10	同上	ケースワーク①
11	同上	応用問題
12	同上	ケースワーク②
13	同上	実践問題
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	マーケティングコミュニケーション I		
必修選択	必修	(学則表記)	マーケティングコミュニケーション I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	国際ビジネス科	2	30
使用教材	まると 初級 2 かつどう			出版社	三修社

科目の基礎情報②

授業のねらい	1 年間の学習を経て、専門学校での学びに ふさわしい日本語基礎力を高める		
到達目標	自然に近いスピードの会話を聞くことができ、話の流れや内容が理解できる。 スムーズに言葉のやりとりができる。		
評価基準	テスト 30%、実践 50%、授業態度 20%		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 / 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	中西 有香	実務経験	○
実務内容	国内外にて 30 年程度日本語教育に従事。留学生向けクラス及び就労者向け日本語クラスを担当。日本語教師養成講座の授業を担当。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己紹介	一年間の流れの説明 自己紹介
2	レベルチェック	N4 レベルのチェックテスト（語彙・文法・聴解）
3	1. 新しい友だち①	自分のことについて話す・人の様子を説明する
4	2. 店で食べる①	レストランでの注文したり、希望を伝える
5	3. 沖縄旅行①	自分の経験や 感想を話す

6	4. 日本のまつり①	イベントで、他の人をお願いをする・質問をする
7	5. 特別な日①	お正月や 休みに何をするか話す
8	テストとふりかえり 1	1 課から 5 課までのトピックで話をする
9	6. ネットショッピング①	商品についてどう思うかを話す・2 つのものを比べる
10	7. 歴史と文化の町①	有名な場所について話す・友だちに伝える
11	テスト	語彙・文法テスト
12	8. 生活とエコ①	エコ活動について話す・工夫を話す
13	9. 人生①	子供の時の思い出を話す
14	テストとふりかえり 3	6 課から 9 課までのトピックで話しをする
15	まとめ 1	まるごと初級 2 復習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	サービスマネジメント I		
必修選択	必修	(学則表記)	サービスマネジメント I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	国際ビジネス科	2	30
使用教材	『合格できる日本語能力試験 N3』			出版社	アルク

科目の基礎情報②

授業のねらい	日本語能力試験（JLPT）N3 合格を目指し、必要な語彙・文法・読解・聴解の力を養成する。 試験問題に慣れるだけでなく、実際のコミュニケーションにも活かせる日本語力を身につける。		
到達目標	JLPT N3 の出題形式を理解し、試験問題に対応できる力をつける。 語彙・文法を強化し、日常生活で使用する日本語を適切に理解・表現できる。 読解・聴解問題を解くスキルを向上させる。		
評価基準	模擬試験 30%、小テスト 30%、授業態度 40%		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 / 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	JLPT N3		
関連科目	サービスマネジメントⅡ、サービスマネジメントⅢ、サービスマネジメントⅣ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	中西 有香	実務経験	○
実務内容	国内外にて 30 年程度日本語教育に従事。留学生向けクラス及び就労者向け日本語クラスを担当。日本語教師養成講座の授業を担当。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 言語知識 (文字)	JLPT 取得の意義、試験概要、学習内容 漢字の読み方を選ぶ①
2	同上	同上
3	言語知識 (文字)	漢字の読み方を選ぶ②、小テスト
4	同上	同上
5	言語知識 (語彙)	文の意味に合ったことばを選ぶ①②

6	同上	同上
7	言語知識（語彙） 言語知識（文字）	小テスト 漢字の読み方を選ぶ③
8	同上	同上
9	言語知識（文字）	漢字の読み方を選ぶ④、小テスト
10	同上	同上
11	言語知識（語彙）	文の意味に合ったことばを選ぶ③④
12	同上	同上
13	言語知識（語彙） 言語知識（文字）	小テスト どの漢字で書くか選ぶ①
14	同上	同上
15	言語知識（文字）	どの漢字で書くか選ぶ②、小テスト
16	同上	同上
17	言語知識（語彙）	ことばを言い換える①②
18	同上	同上
19	言語知識（語彙） 言語知識（文字）	小テスト どの漢字で書くか選ぶ③
20	同上	同上
21	言語知識（文字）	どの漢字で書くか選ぶ④、小テスト
22	同上	同上
23	言語知識（語彙）	ことばを言い換える③④
24	同上	同上

25	言語知識（語彙）	ことばの使い方を選ぶ①②
26	同上	同上
27	言語知識（語彙）	ことばの使い方を選ぶ③④
28	同上	同上
29	総復習問題 言語知識（文字・語彙）	模擬試験、答え合わせ
30	同上	同上

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ビジネスプレゼンテーション I		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネスプレゼンテーション I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	国際ビジネス科	1	30
使用教材	なし			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職活動に向けて、自己開示・自己分析の方法を理解する 傾聴力・思考力・表現力を身につける				
到達目標	自分自身を理解し、自己分析ができる 身につけた表現力を活かし、人前で堂々と話すことができる				
評価基準	発表：60% 小テスト：20% 提出物：20%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	ビジネスプレゼンテーションⅡ、ビジネスプレゼンテーションⅢ、ビジネスプレゼンテーションⅣ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	樋渡 紗耶香			実務経験	○
実務内容	モデル・司会業 15 年、医師事務 8 年。ミスユニバース等の公認講師としてウォーキング・スピーチ指導を 3 年。専門学校等で医療事務、B 校、W 校でダイエットの授業やウォーキングを指導。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション プレゼンテーションとは	授業の概要について 傾聴（アクティブラーニング）について
2	話す時の心構えと基本	思考力と表現力について
3	同上	同上
4	表情（表現力）	第一印象(メラビアンの法則)と表情について 即題スピーチについて
5	同上	同上

6	思考力①	思考力について ストーリー構成の型について
7	同上	同上
8	思考力②、表現力	PREP 法について show&tell について
9	同上	同上
10	自己分析	自己分析について
11	同上	同上
12	ディスカッション	グループディスカッションについて
13	同上	同上
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返り、総まとめ